

## 北九州市立年長者研修大学校（周望学舎・穴生学舎）及び 北九州穴生ドーム 指定管理者検討会発言要旨

- 1 開催日時 平成25年10月15日（火）9：00～
- 2 場所 本庁舎82会議室
- 3 出席者 （検討会メンバー）  
石塚構成員 小鉢構成員 篠塚構成員 田村構成員 樋上構成員  
（事務局）  
高齢者支援課長、高齢者支援課いきがい係長、担当職員

### 4 会議内容

- (1) 座長選出（事務局の提案、検討会の合意により）
- (2) 議事次第、選定基準、採点上の注意事項等について事務局より説明

プレゼン（北九州市社会福祉協議会・里山を考える会共同事業体より提案内容を説明）

質疑応答（北九州市社会福祉協議会・里山を考える会共同事業体との質疑応答）

（構成員） 受講生はリピーターが多いのか。講座がマンネリ化することはないか。

（応募団体） リピーターが7～8割程度となっている。受講生の満足度が高く、居心地がよいのかもしれない。新規受講生を増加させることは重要であると考えているので、受講に当たっての優遇措置を設けている。  
講座のマンネリ化は、団体としても重要な課題と考えており、今回の提案に当たって、見直しを図りたいと考えている。

（構成員） 年長者の社会活動の場としてどのようにして確保するのか。

（応募団体） 地域等のニーズと、受講生のシーズをマッチングする仕組みにより、場の確保、活動展開を図っていきたい。

（構成員） 受講後に、産業活動に従事することができるような講座はあるか。

（応募団体） 夢追塾の取組みで、地域でリーダーとなられる方、起業される方を輩出している。今後も、充実を図り、活躍の場を広げられるようにしていきたい。

（構成員） 災害対策、危機管理として、どのようなことを行っているか。

（応募団体） 各施設において、それぞれ年2回、受講生も参加した防火訓練を実施している。

（構成員） 里山を考える会は、新たに共同事業体として参加するが、事業展開はどのように考えているか。

（応募団体） 夢追塾部分で参加する。里山を考える会は、夢追塾が指定管理業務になる前の事業の立ち上げ時点から関わっている。事業内容については十分に理解

しており、支障はないと考えている。

また、卒塾生の次のステップ、活躍の場についても実践例がある。

プレゼン（メイトカルチャーVillage より提案内容を説明）

質疑応答（メイトカルチャーVillage との質疑応答）

（構成員） 施設の設置目的を踏まえて、年長者のいきがい、地域貢献、社会活動の促進についてのどのような考え・理念を持っているか。

（応募団体） 年長者のライフスタイルとして、自分の生活を楽しみ、その上で地域貢献をするというふうに考えている。また、近年の傾向として、しっかりした方が多く、若者と同じような考え方を持つ人も多くなっている。そのような年長者像を踏まえた、いきがいに関する取組みをしたい。

地域貢献、社会活動の促進としては、本市の目指すまちづくりに沿った活動であるのが望ましい。本市では市民センターを核とした地域づくりが進められており、連携が重要だと考えている。

（構成員） 新規講座の内容、講師・スタッフの確保についてお尋ねしたい。

（応募団体） 既存の講座はそのまま実施した上で、健康増進センターの設置、法律相談講座等、新企画を実施する。また、必要な講師・スタッフも別途確保することを考えている。

（構成員） 一人暮らしで引きこもり、或いは、健康上の理由等から、外に出てこない方もいるが、そのような方へのアプローチは考えているか。

（応募団体） 介護施設等との提携を考えており、バスの送迎による年長者研修大学校の利用を検討していきたい。これまで、年長者研修大学校では、車椅子の方をお見かけすることはなかったが、そのような方でも意欲があれば、学べるような施設にしていきたい

（構成員） 当該指定管理業務には、施設維持管理業務のウェイトも大きい。そのための人的配置についても対応可能か。

（応募団体） 提案に先立って、協力企業との協議を行い、協力体制を構築することとした。運営上の問題はないと考えている。

構成員は、各団体の提案概要のヒアリングと質疑応答を受け、提案についての評価を行い、得点を記入し発表。

構成員による意見交換

（構成員） 管理運営を行っていく上で必要な人材が確保されているかという点を重視して評価を行った。社協・里山共同事業体は遜色ないと判断したが、メイトについては、十分とはいえないと感じた。

（構成員） 実際に施設を利用していても、社協による施設運営は、十分な水準だと思

う。また、社協には長年の経験、地域交流の実績等の実績もある。その意味でも社協・里山の提案には説得力があると思った。  
メイトについては、経営理念をしっかりと練った上で、事業計画を作成しており、その点を高く評価した。

( 構成員 )           社協・里山については、実績が豊富で安心感がある。マンネリ化せず、新しいことに取り組めるかが気になる。  
                          メイトについては、新しいことをやってみようという強い意気込みを感じたが、やや具体性を欠く面もあった。

( 構成員 )           これだけの規模の施設を管理するとなると、責任者等の配置も重要。社協・里山の提案は、経済性・効率性だけではなく、それらの面の配慮もあった。一方で、里山と社協が共同事業体を組むことによる将来的なイメージが見えにくかった。  
                          メイトについては、責任者の配置、人材確保等、組織運営の面で十分な体制を構築できるという確信には到らなかった。また、財務面でも十分とは言えなかった。

( 構成員 )           社協については、これまでの活動実績に加え、そこから先の新たな取り組みが見られるかという点を見極めようと思った。その点、新たに里山をメンバーに加え、新しい風を吹き込もうとしている旨説明があり、納得が得られた。一方、長く運営に携わっていると、自分達の悪い点を受け入れ、見直していくという点が、おざなりになることがある。この点は、十分に確認できなかったが、しっかりやってほしいところである。  
                          メイトについては、施設の設置目的についての基本的な理解、それを踏まえての目標設定といった面が十分とは言えない。また、人材確保、財務の面で、業務を担うだけの十分な力があるとは言いがたい。一方、積極性、やる気といったところでは優れており、期待したい。

各構成員に意見の修正の機会を与えた後、採点結果を取りまとめ、検討会を終了した。